

国語総合	報告課題第五回	年	組	氏名
	解説			

【鳩と蟻のこと】

まず、全文を読んでみましょう。この第五回は古典となっております。皆さんの中にも苦手意識をもっている方もいるかもしれませんが、あまり身構えずに、文法や古語など最初は気にせず、内容理解を読み進めていきましょう。段落は左の通りです。

- ① 初め～一九二ページ四行
- ② 一九二ページ四行～一九三ページ一行
- ③ 一九三ページ一行～終わり

第一段落〔発端〕 蟻を救った鳩

河のほとりで遊んでいた蟻が、水に流された。梢から見えていた鳩が、気の毒だと思って、梢を食いちぎって、河の中に落としたので、蟻はその梢に乗って、河岸に上がった。

第二段落〔展開〕 鳩を救った蟻

こうしていたうちに、ある人がこの鳩をとりもちで捕らえようとした。蟻は先ほどの恩返しをしたかと思いい、その人の足に強くかみついたので、その人は恐れ驚いた。

第三段落〔結末〕

その人は、このいきさつを知りはしないだろう。しかし、鳩は事情を悟って、どこへともなく飛び去った。

【児のそら寝】

この単元は、段落自体は二段落と少ないですが、ひと段落ごとに二つ三つと内容が分かれていきます。意味段落を考える際は、注意が必要です。ただ、内容自体は、いたって簡単な笑い話となっていますので、楽しみながら取り組んでいきましょう。段落は左の通りです。

- ① 初め～二〇〇ページ五行
- ② 二〇〇ページ六行～終わり

第一段落

主人公紹介

初め～児ありけり。↓ 児の紹介

児の分別①

僧たち、くひしめき合ひたり。↓僧たちがぼたもちを作ることになり、児はその完成に期待を寄せる。そうかといって寝ないでいるわけにもいかない児が寝たふりをしているうちに、ぼたもちができた。

第二段落

児の分別②

この児、く念じて寝たるほどに、↓児の期待どおりに起こしてくれる僧があり、児は喜ぶが、待ち構えていたと思われたくないのもう、もう一声かけられるまで寝たふりをしようと思ふ。

期待はずれ

「や、な起こしたてまつりそ。くずちなくて、

↓起こすのを制止する声があり、以後、誰も児を起こさそうとしない。僧たちがぼたもちをむしやむしや食べている音を聞くうちに、児は我慢できなくなってしまう。

結末

無期のうちに、く終わり

↓児は「はい。」とタイミングのずれた返事をして起きる。僧たちは大笑いした。

それらを踏まえたうえで、報告課題に取り組んでいきましょう。